

～多くの聴衆に支持される〈表現者〉としての
クラシック（普遍）音楽アーティストを発掘し支援する～

このコンクールは、世界中の芸術家と親交を深め、一流の音楽に触れてきた私が自ら審査を務めます。また審査員には当代一流の審査の先生をお迎えし、日本から世界に羽ばたくアーティストの発掘を目指します。優勝者は今後の研鑽のための奨学金やN.Y.カーネギホールでのデビューの他、私が主催する様々なパーティでの演奏など、社交界での活躍の場を提供いたします。そのため当コンクールでは一般的な演奏だけの評価ではなく、スター性、語学力、パーソナリティ、将来の展望、ステージマナーに至るまで多岐に渡って審査する世界でも稀なユニークなコンクールです。今年もこのアワードから、素晴らしいアーティストが発掘されることを楽しみにしております。

イブラ音楽財団名誉会長
ラトナ・サリ・デヴィ・スカルノ 

デヴィ夫人プロデュースだからこそ—
他のコンクールではありえない表彰の数々。

- ・優勝 1名 賞金 100万円
- ・各部門 第1位 賞金 50万円 第2位 賞金 30万円
- ・特別賞 1名 賞金 20万円
- ・フューチャー賞 1名 賞金 20万円
- ・マチュアー賞 1名 賞金 20万円
- ・入賞 複数 賞金 5万円
- ・シチリア島 ローマ時代の 古都イブラの音楽祭典に参加可能
- ・NYカーネギーホールの イブラ・コンサートに参加可能

チャンスを掴もう！



芸術家は人類の財産です。
デヴィ・スカルノが贈る

The IBLA International Foundation

第3回

イブラ・グランド・アワード・ジャパン

本選・グランプリ 2023年8月29日(火)～9月2日(土)
会場 古賀政男博物館けやきホール・紀尾井ホール

声楽・ピアノ・弦楽器・管打楽器・World Music

7月23日(日)〆切



主催 一般財団法人 アース エイド ソサエティ

助成 公益財団法人 公益推進協会 渡辺綾子基金

募集要項

【審査部門】(クラシックに限る)

声楽・ピアノ・弦楽器(ハープ可)・管楽打器・
ワールドミュージック(ギター・アコーディオン・古楽・邦楽など)

【表彰】(全部門より)

- ・優勝 1名 賞金 100万円
- ・特別賞 1名 賞金 20万円
- ・フューチャー賞 1名 賞金 20万円
- ・マチュアー賞 1名 賞金 20万円
- ・入賞 複数名 賞金 5万円

※今大会より各部門事に第1位・第2位を選出します。

・第1位 賞金 50万円 ・第2位 賞金 30万円

※優勝者は優勝分の賞金のみとなります。

【審査の流れ】

◇予選審査 動画による【7月23日(日)〆切】

◇本選審査 8月29日:管打楽器

30日:ピアノ・弦楽器

31日:ワールドミュージック・声楽

◇グランプリ&レセプション 9月2日

紀尾井ホールおよびホテルニューオータニ鶴の間

【参加資格】国籍・年齢・学歴は問わない。基本はソロ演奏とする(伴奏にピアノを同伴することは可)。ピアノ部門に限っては連弾可。

【エントリー】

ホームページの応募フォームから必要事項を記入しエントリーする。

予選動画は自身が演奏する動画 YouTube に公開もしくは限定公開でアップロードし、フォームに URL を記入する。過去に演奏・公開した演奏でも構わない。メールや郵送等での提出は一切認めない。尚再生できない場合は失格となるので、公開設定の確認は各自の責任で行うこと。

【参加料】

予選申込時に 15,000 円を納入する。部門本選・グランプリ進出となっても以降の支払いは無い。

◆振り込み先:三菱 UFJ 銀行(普) 0771139 目黒支店

ザイ)アース エイド ソサエティ

※振込受領証(ATMの利用明細で良い)をスキャンもしくは写真ですがフォームに張付すること。振込受領証をもって領収書に代える。

【予選審査発表】8月上旬を目安にホームページ上で発表。通過者には別途連絡する。

【演奏曲目&演奏時間】

◇予選審査 任意の一曲

◇本選審査 10分以内の自由曲(部門毎)

◇グランプリ 15分以内の自由曲。(各部門より総合グランプリ)

※各審査毎に複数曲可。

※審査員の指示により、演奏途中でカットする場合がある。その場合、審査には影響しない。

※本選までは部門別とし、グランプリでは全部門総合評価とする。

【特記事項】

動画には冒頭に、部門本選・グランプリでは冒頭や曲間に〈意気込みや将来の目標〉などを1分程度で自己PRタイムを入れること。(演奏時間には含まない)

【審査員】

審査には予選から審査員長であるデヴィ・スカルノがあたる。各部門本選とファイナル・グランプリは米国法人イブラ音楽財団よりサルバトーレ・モルティサンティ氏他、当財団が招聘する演奏家や音楽大学教授等が審査にあたる。審査員は決定毎にホームページ上にて発表する。

【主催者準備ピアニスト】

遠方からの参加等で伴奏ピアニストを準備できない場合は主催者にて準備するピアニストに依頼することができる。料金は無料だが、ピアニストの指名は主催者に一任することになる。

特記事項

- ・変更事項、訂正事項は随時ホームページにて発表する。
- ・主催者ではピアノ1台を準備する。その他の楽器は各自で持ち込むこと。搬入に際しては相談すること。
- ・調律は変えられない。
- ・審査に関する疑問やクレームは受け付けない。
- ・予選、本選、グランプリの演奏曲目は重複可能。
- ・曲目の前奏、後奏ならびに楽曲途中で一般的なカットについては審査に影響しない。
- ・声楽部門でオペラアリアを歌唱する際は原調のこと。一般的に認められている移調は可能。
- ・音響機材を用いての拡声は不可とする。

・応募資料並びに納入後の参加費は返却できない(主催者都合による中止は返金する)。

・今大会より本選ならびにグランプリは有観客(有料)とする。

・参加に際しての交通・宿泊・食事の費用は各自負担のこと。

・本コンクールで行われる全ての演奏及び開会・閉会式、授賞式、コンクール終了後に行う関連演奏会に関し、出場者が有する放送権・上映権・録音権・出版権・肖像権等の諸権利は主催者に帰属する。

従いてはコンクールの模様は動画サイトや次回募集要項等に使用することがある。

・部門本選並びにグランプリ、授賞式はでげい・スカルノ公式

YouTubeにて生配信を予定しており、アーカイブで残す。

◆コロナウイルス感染拡大予防措置

・主催者は東京都の感染拡大予防マニュアルに準じて開催する。

・審査は公開の予定だが世状を鑑み無観客とする場合がある。その場合はHPにて発表する。

【問い合わせ】

取材等▷アース エイド ソサエティ:03-3460-1000

出場者▷事務局担当者:080-6660-3387

e-mail: info@ibra-award.com



イブラ・グランド・アワード・ジャパンについて



Dr.Salvatore Moltisanti

本コンクールの母体となるイブラ音楽財団(NY)はデヴィ・スカルノ氏を名誉総裁に、イタリア人ピアニストのサルバトーレ・モルティサンティ氏によって1990年に設立されました。これまでイタリア・シチリア島に位置するローマ帝国時代の古都イブラにおいて30年以上に渡りコンクールを開催して参りました。過去の実績や年齢制限、音楽大学卒業等の条件を一切問わず、今現在までの努力の成果のみを審査するコンクールとして評価されております。

「イブラ・グランド・アワード・ジャパン」はその日本版としてスタートを切りました。優勝者はNYカーネギーホールでのコンサート出演や、イブラでの音楽祭に日本代表として出場する機会などが与えられます。

2021年、2022年の大会では各方面より高い関心が寄せられユニークな演奏が展開されました。世界中でクラシックと触れ合ってきたデヴィ・スカルノ自らが審査員長として、予選から全ての審査を行い、その受賞者たちは今、世界に向けて羽ばたこうとしております。

今大会も素晴らしいアーティストがこの舞台より発掘されることを切に願っております。

申し込み用紙ダウンロード

イブラ・グランド・アワード

検索

http://ibra-award.com

